

政策調整会議の概要

開催日：H19.3.22

項目

- 1 少子化対策の基本的な方向案について【健康福祉部】
- 2 各部署の主要な取り組み等について

内容

- 1 少子化対策の基本的な方向案について【健康福祉部】

健康福祉部から、少子化対策の基本的な方向(案)について説明があり、以下のとおり意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 高知県少子化問題を考える会を中心に検討し作成した「少子化対策の基本的な方向」の案を、庁議、政策調整会議、企画会議、庁内各課等からいただいた意見、県民世論調査の意見等を踏まえて、最終案を取りまとめた。
- ・ 来年度早々には少子化対策本部を立ち上げることにしたので、最終的にはその中で基本的な方向の最終決定をしていきたいと思っている。
- ・ 中間取りまとめ以降、世論調査や庁内からの意見に基づき修正を行ったが、全体の構成についてまとめ直した点、修正をした主な内容については以下のとおりである。
- ・ 少子化対策の基本的な方向の考え方については概ね変更はない。
- ・ 「第1章 少子化をめぐる状況」については、県民世論調査の内容やグラフ等を取り入れながら、「1. 少子化の現状」、「2. 少子化の要因」、「3. 社会的な背景」、「4. 少子化の影響」、「5. 少子化対策として求められているもの」という構成としている。
- ・ また、第1章の取りまとめとして、「6. 考えられる課題」として8つの課題をあげている。
- ・ 8つの課題を解決する具体的な方向として、「第2章 少子化対策の基本的な方向」としてまとめた。
- ・ 基本的な方向として『子どもを産み育てやすい環境づくり』を一番大きな目標とし、「社会全体で子どもを育てること」、「幅広い分野で総合的に取り組むこと」、「人口減少が続く中、少しでも少子化の流れを変えること」を基本的な視点とした。
- ・ また、基本的な大きな方向として「地域ぐるみの子育て支援」「子どもが安心・安全・健やかに育つ環境づくり」「働き方の見直しや仕事と家庭の両立支援」「未来の親づくり」「子どもを社会で育てる意識づくり」「子育て家庭等の経済的負担の軽減」とし、その下に取り組みの視点としてややブレイクダウンしたものを入れるとともに、「県民の皆さんの声」という形で、なぜそういう取り組みが必要なかを記載している。
- ・ 「第3章 少子化対策の推進に向けて」では、庁内体制の整備として平成19年度に少子化対策本部を立ち上げることや、官民協働による県全体での推進体制の整備や、市町村、国との連携による推進などを記載している。
- ・ 庁内から全体に対して、もっと雇用や産業振興などを視野に入れた視点が必要ではないか、こうちこどもプランとの関係がよく分からない、地域特性などの考慮が見えないのではないかと、といった意見をいただいている。
- ・ 雇用や産業振興に対しては、少子化対策には子育て支援や若者の定着の両方が重要な視点であることは分かっているが、広範な対策が必要であり、今回取り組もうとしている少子化対策は子育て支援や意識啓発を中心に考えているため、産業振興等に関しては視点としては若干入れているので、後はそれぞれの担当部署での充実強化をお願いしたいと考えている。
- ・ こうちこどもプランとの関係は、こうちこどもプランは子どもの健全育成の視点や教育育成を主眼においたものであり、生み育てる意識啓発や仕事と家庭の両立、県民・企業との連携といった視点は、若干は入っているが「検討していく必要がある」という記載で具体的なものではない。基本的な方向では、そうした

方向について定めて取り組んでいくこととしたものである。

- ・ なお、こうちこどもプランについては、10年間の計画で5年ごとに見直すこととしており、21年度の見直しの際にはこうした少子化対策の観点を大きく入れ込んだ形で見直すこととしている。
- ・ 地域特性については、高齢化の人口割合が多いこと、共働き世帯や一人親世帯が多いこと、生涯未婚率が高いこと、高知市への一極集中が進んでいるといった特性があるが、それに対しては、取り組みの視点の中に、豊かな経験を持つ高齢者を活かした子育て支援や、共働き・一人親世帯の支援、保育サービスの充実、男女の出会いの場の創設や地域のネットワークづくりの支援などといったことを盛り込んでいる。
- ・ その他個別の表現に対して意見をいただいている点については、大きく4点ほどある。
- ・ 1つは、「本県には働く女性が多い」という表現は「共働き世帯が多い」という表現にしてはどうかという意見があり、そのとおり修正をした。
- ・ 2つ目は、「男女共同参画の視点が必要ですね」という意見をいただいております、取り組みの視点の中に記載した。
- ・ 3つ目は、「経済的支援について、県民の皆様の意見として求める声が多いが、位置づけをどうするのか、どういったトーンで記載するのか」との意見をいただいたが、財源対策等のこともあり、「検討していく」という表現としている。
- ・ 4つ目は、「社会全体で子どもを育てる」という表現は、正確に言うと社会全体で子育てを支援するということではないか」との意見をいただいたが、国の新しい少子化対策でも「誕生を祝福し、慈しみ、守り育てることは社会全体の基本的な責任である」という表現もあり、意識的には分かりやすいのではないかとということで原文のままとしている。

【主な意見】

- ・ 少子化対策を推進していくための官民協働の推進組織というのは、どういうものを想定しているのか。まだ具体的に決まっていない。幾つかの考え方があって、高知県少子化問題を考える会で民間の方に入ってもらって検討を重ねているが、経済界の方が少ないという意見をいただいているのでその方を加えて、具体に取り組んでいくときの支援策を考えたり、経済界の窓口になっていただく。あるいは、20年度に何をやるのかといった新たな取り組みの議論をしてもらうことも考えられる。まだそこについては、固まってははいない。
- ・ 意見を言い合うだけでなく、実働するものでないと、前に進まないのではないかとと思う。今年デスクワークを中心に方向性を作ってきた経緯があるが、具体の動きをしないと事は始まらないので、これからはそういう動きをやっていかないといけないという思いはもっている。
- ・ 官民協働の組織は、実働部隊に軸足がないといけないのではないかとと思うが、そんなときにどんなメンバーにどう入ってもらったら良いのかについて、商工労働部や1次産業の部局など課題がある部局に聞いてみるのも良いのではないかと。最近大企業では女性職員の子育て環境を支援する取り組みがされているが、それが高知県でどこまでできるのかについては、いろんな課題がある。そういうところを含めて、子どもを産み育てやすい環境をいかに労働雇用面でも作っていくかということも大きな課題だと思うので、そういう関係部局とも連携を取って具体の取り組みをしていかないといけないということはそのとおりだと思う。
- ・ 少子化対策本部で決めたことは予算に反映させるということになるのか。本部を設けて議論をしてもらうのであるが、県全体で取り組んでこそ初めて前に進むものであり、そういった意味で本部の機能というのは有効だと思うし、本部で議論して決めたことは各部局で取り組んでもらう事が前提での本部会議になると思う。
- ・ 農村や漁村の対策はどうするのかといったとき、やはり産業と雇用対策についてもう少しつっこんだ説明が欲しいと思う。産業振興は大きな視点であるということで「若者の就業支援」として直接的な取り組みの方向は記載して

いる。ただ、そこに至るまでの産業全体の振興について掘り下げて「少子化の対策である」とまでは取り上げていないということであり、了承してほしい。産業振興についてどうしても取り上げて欲しいということで少子化対策本部の方向が決まれば、また議論をしていただくこととしたい。

- ・ 雇用という点では、少子化対策ということではないが、産業振興ビジョンを現在取りまとめているところであり、産業振興の方向性は商工サイドで取りまとめを行っており、それでよいのではないかと。
- ・ 雇用は大きなウエイトを占めている。雇用にもっと正面から言及しないといけないと思うが、少子化対策本部と雇用対策本部との連携とかは考えているのか。独立した本部があり、それぞれでやっていくのは非効率であり、連携して行ってはどうか。
- ・ 産業振興、雇用、少子化と繋げていくようなビジョンを作るのは、大変なことではないか。少子化という切り口で、産業振興までもっていくというのはまとまらないのではないかと。
- ・ 少子化対策という言葉が抽象的であり、いろんな切り口がある。今回は、少子化時代の中の子育て対策をメインにしており、こういう切り口で良いのではないかとと思う。少子化対策本部についてはどこに切り口をもっていくのか、子育て対策だけをやるのか、産業も含めた少子化社会全体に対する対策を議論するのかについて、どう整理しているのか。

十分議論してはいるが、今回の方向を基に本部を立ち上げるため、当面はこの基本的な方向について県庁全体でどう取り組んでいくのかについて議論を行うこととしたいと考えている。

- ・ 「県民の皆さんの声」については、まとめに反映されない少数意見などについての整理はされているのか。全部の意見を視点に落とせてはいるので、それについての記載は必要かと思うので記載していきたい。経済的支援については、具体化できないものについても記載している。
- ・ 少子化対策本部については、アライバづくりの本部ではなく実効性のある本部にしてもらいたいと思う。政策協議や予算編成の時期など、節目節目で本部を開催して実行していく。各部局も本部員として参加するものであり、我が事として考えて、自分の部として少子化対策のこんな予算が必要であり部として要求していくというくらいの気持ちでいて欲しいと思う。各部局の本来の仕事の中で子育て対策の支援も必要ということで要求していくというのが本来のあり方であり、各部局の中で優先順位が低いのであればそれだけのものではあったということになる。その辺を横串で見っていくのが本部になると思う、よろしく願います。(副知事)

2 各部局の主要な取り組み等について

各部局から、H19.2月～3月16日までの主要な取り組み、3月17日～4月までの主要な取り組み予定について報告を行い、情報の共有を図った。